

# 顔の見える木材での快適空間づくり事業のうち A材丸太を原材料とする構造材等の普及啓発

事業実施主体

一般社団法人山梨県木造住宅協会

## 実施体制・連携グループ

- (一社)山梨県木造住宅協会⇒実施主体/事務局
- 九州大学木質材料工学研究室⇒企画支援/専門家派遣
- 熊本県農林水産部林業研究指導所⇒技術提供/ノウハウ提供
- 山梨県地域木造住宅生産体制強化地域協議会⇒事業連携/人員補助  
(山梨県建築士会/山梨県建設組合連合会/山梨県木材協会/他)
- 森林組合等木材供給関係者⇒事業連携/製品作製/事業実施補助
- 山梨県⇒事業連携/事業支援(情報/施設等)/実験協力

## 事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①:アカマツの一般住宅建築用材としての無垢材製品の開発
    - 一般流通地域材に適する乾燥製品(無垢)の製作。  
(120×120/105×105×4000/30×120/30×105×3000/他)
    - 芯持ち材をスパイク栈木及びスパイク台木を利用しての乾燥。
    - 辺材を高周波乾燥機を利用しての変形確認。
    - 各乾燥データの収集及び解析(破壊試験等)。
    - 県内乾燥施設利用の製品製作確立を探る。
  - ②:乾燥技術者育成の為の講習会及び勉強会の開催
    - 専門研究者による技術指導(2ヶ月に1度程度のWG開催)。
    - 無垢材乾燥の先進県における施設視察、意見交換。
  - ③:広報活動
    - 活動で得たデータ及び研究内容をまとめた冊子作成。
    - 山梨県主催の「森林のフェスティバル」に参加し周知。
- 【こだわり】
- 全国屈指の森林県において素材生産割合の約70%が木材チップ用のデータがあり、A材利用への生産転換は急務である。A材への生産転換が出来れば、急激に廃業している地域の製材所を含む木材関連事業者の減少を食い止められ、ひいては増加も見込める。

## 【テーマ】アカマツ製品のA材利用化

### 背景と目的

#### 【背景】

- ・素材生産量割合の約70%が木材チップ用(価値が低い)。
- ・アカマツのA材/B材への生産転換についての方策は講じられていない。

#### 【目的】

- ・B材/C材で特に安価で取引されているアカマツをA材として生産提供。

## 対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

### ○一般住宅建築用材

【正角】 120×120×4000 105×105×4000

【平角】 30×120×3000 30×105×3000

◆平角は、選別によって間柱材と仕上げ材に分ける。

◆仕上げ材も、造作材と床板や羽目板等に分ける。

○アカマツは角材にする事が難しい材料ではあるが、昔より万民に好まれ、全国各地に生息する建築用材であり製品化は付加価値が高い。

### 写真・図等



### スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

①:アカマツの一般住宅建築用材としての無垢材製品の開発

③:広報活動

報告書

実行委員会

②講習会勉強会

②講習会勉強会

③広報活動

②講習会勉強会

②講習会勉強会